

# NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA 新・奥の細道

一周ルート  
(22)

アジサイ寺を訪ねるみち  
Ajisai-dera-o-tazuneru-michi



山形県

## 周辺のアクセスガイド

・米沢駅から奥羽本線で5分。  
・置賜駅までは  
米沢市万世までは  
米沢駅からバスで15分。



## 観光・宿泊のお問合せ

米沢観光協会  
〒992 米沢市丸の内1-3-60  
☎0238-21-6226

置賜広域観光案内センター  
〒992 米沢市駅前1-1-43  
☎0238-24-2965

## 交通のお問合せ

JR米沢駅  
〒992 米沢市駅前1-1-43  
☎0238-22-1130

## コースのお問合せ

米沢市観光物産課  
〒992 米沢市金池5-2-25  
☎0238-22-5111

山形県環境保護課  
〒990 山形市松波2-8-1  
☎0236-30-2207

表紙の写真は、7月のアジサイ寺

# NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA GUIDE

## 大覚院

Daigakuin

創建800年の歴史を有する天王山大覚院は、300余の古墳群で知られる戸塚山のふもとにあります。明治の神仏分離令にもかかわらず、牛頭天王（薬師如来）、湯殿山大権現（大日如来）、俱利伽羅不動明王の三大権現をご本尊とする県内唯一の、神仏一体の修験院です。

また、ご本尊は、昔より病魔退散や災難避けなどの靈験あらたかなことで知られ、多くの信者が参拝や祈禱懇願に訪れます。



## 戸塚山観音堂

Totukayama-kannondo

大同元年（806）に創建された観音堂です。その後、ご本尊は米沢藩の鎮守の神として信迎され、当時は十握山と呼ばれていました。

その昔、蝦夷討伐のため当地を訪れた日本武尊は、十握山頂で天下泰平と万民安泰を祈念したと伝えられています。

現在の本堂は、正徳元年（1711）に再建したものですが、風雨から護るために昭和29年に現在地に移転し、それから戸塚山観音と呼ばれています。



## 瑞雲院

Zuiunin



800年以上の歴史を誇る寺院といわれ、当初は、真言宗であったが弘永元年（1342）「月泉良印」によって曹洞宗に改宗、平成6年に開山600年の法要を行っており、米沢地方（置賜）の曹洞宗では最古の寺院です。

## 桃源院

Togenin

天文13年（1545）に、伊達晴宗、輝宗、政宗の三代にわたり、筆頭の家臣として仕えた左月斎良直公によって創建されました。

その後、政宗が宮城県岩出山に移封（領地替）されるとともに、桃源院も移されました。現在の桃源院は、当地に残った人々のによって再興されたものですが、曹洞宗の教えは、絶えることなく引き継がれています。



## 羽黒神社

Haguro-jinja



出羽羽黒山から倉稻魂命を分霊して創立されたと伝えられています。

毎年7月14日には「ねぎ祭り」が開かれ、ここで売られるねぎを食べると風邪をひかないと言えられています。

※倉稻魂—食べ物、主に稲の神様。

## 松心山善光寺（アジサイ寺）

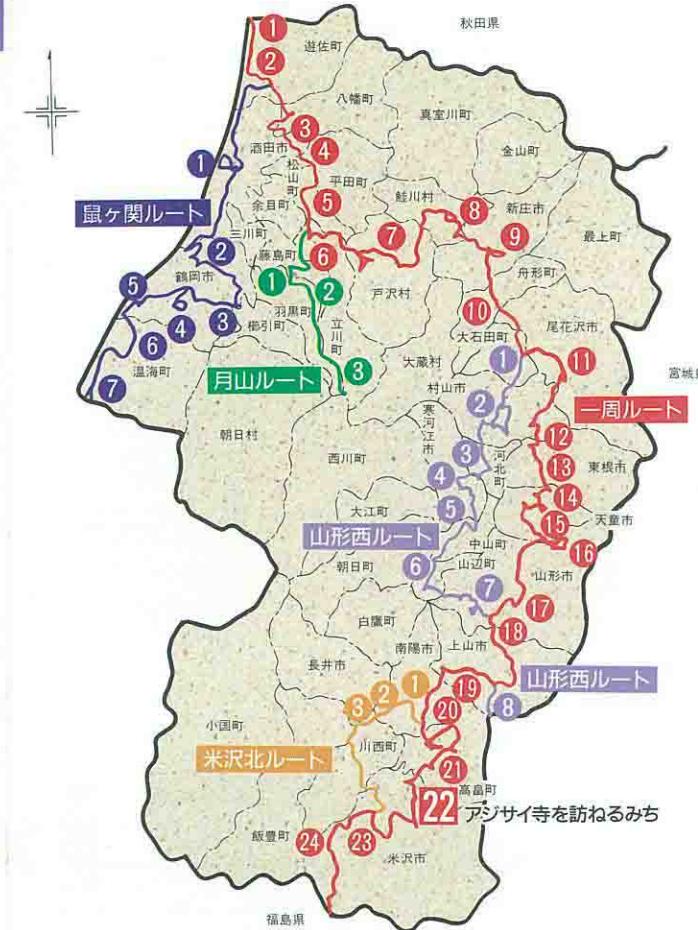
Shosinzan-zenkoji  
"ajisai-dera"

真言宗豊山派の寺院で、出羽善光寺などと呼ばれています。創建の歴史は、宝曆13年（1764）、明治26年（1893）の2度の火災によって焼失てしまい、正確な歴史は不明ですが、大同2年（807）に善光寺阿弥陀堂（現在長野市にある善光寺）を勧請したものと伝えられています。

その他に、鎌倉時代の置賜地方を治めた地頭長井時広が創建したなど数々のいわれがあり、阿弥陀堂には長井時広夫妻の像とつたえられる座像と、後ろを振り返る珍しい姿で、見返り如来と呼ばれている阿弥陀如来立像とともに、県の文化財に指定されています。また、7月上旬から中旬には、あじさいの花が一面に咲きほこります。

※長井時広…源頼朝が鎌倉幕府を開くと同時に置賜地方の地頭（鎌倉時代に各地の荘園におかれた役人）となった。その後長井氏は、190年間置賜地方を統治した。

# YAMAGATA MAP 東北自然歩道（新・奥の細道）ルート図



## “新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。

“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といいます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
  2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
  3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。
- この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発！

## おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのものです。大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。

そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金還元融資を受けてつくられました。